panulato-cylindricus tetragonus, in quoque faciebus medio plicatim 1-sulcatus, basi subtruncatis 6.5 mm longus 3.5 mm latus, intus glaber, lobis calycis majusculis satis patentibus, ovato-deltoideis acutis vel subacuminatis, tubo parum brevioribus 5 mm longis ima basi tubo vix latioribus 4 mm latis, intus albis praeter partem marginis glabrum stellato-pubescentibus, dorso ut calycis tubus albo-lepidotis sparsimque dilute flavescenti- vel fuscescenti-punctatis. Antherae staminis anguste oblongae ad 1.75 mm longae albo-luteae, ex fauce calycis semiexertae, dorso medio ad filamentum affixae, filamento brevi inclinato, ad faucem calycis affixo. Stylus glaber 9-10 mm longus, plus minus flexuosus antheras superans, sed lobis calycis multo brevior, stigmate circinato. Fructus. . . . . . .

Hab. Kamakura culta (Nov. 14 1950, fl., Y. Momiyama).

○上野黒瀧山のシダ植物（行方沼東） Shôtô NAMEKATA: Pteridophytes of Mt. Kurotaki, Kozuke.

5 月 23 日前橋市堀川町の若名東一，小坂村下小坂の里見哲夫と倉田悟の諸氏他一行九名で黒滝山のシダ採集を試みた。そこに行つて先づ気付いたことは，伊豆や房総に比べてシダの種数がずつと少いことであつた。下仁田の町から磐戸村の小沢まではバスに乗つた。南牧川の橋を渡つて塩沢をさす。早くも路傍の石垣の間に①ミヤマウラジロ②イヌワラビ③ニシキシダ④ヒメウラジロ⑤ヤブソテツ⑥クマワラビ⑦イノモトソウ⑧オオバノイノモトソウを見出した。ミヤマウラジロとヒメウラジロとはこの甘楽，多野両郡地方に特産しこのあたりでは珍らしいものではない。塩沢の農家の石垣の間にたつた一株の⑨キンモウワラビがあつたので採集した。これも上州にはところどころにあるがこの国の特産とすべき一種である。葉柄基部に沢山集つた鱗片は金色で美しい。道筋にはずつとイヌワラビが多くて行つても行つても，それはとうとう山の上までつづいていたのは一寸他所と違うシダ的景観だつたし総じてこの山附近には athyrium のものが多かつたことは注目すべきである。小塩沢を出はづれてから川の曲るあたりで⑩オオヒメワラビ⑪ハクモウイノデを見つけた。川の向う岸に⑫ハコネソウの群生があつてそこで⑬ジョウシユウコガネシダ数株をとつた。これは今度の採集の目的物の一つであつた。黒滝部落のあたりでは⑭ジユウモンジシダ⑮オオレンシダ⑯ヤマヤブソテツ⑰ヘビノネゴザ位で目新しいものはない。黒滝を通過するとだんだん山らしくなつてきたが沢は伐採後まだ年を経ず明るくてシダ的環境ではなかつた。恐らくこの沢に暗い森林の存した時代のシダは減少或は滅亡したであろう。そのよき一例としてたつた一株の⑰ミヤマクマワラビを谷川のへりでとつた。ところどころ岩石が現れハコネソウ⑲ツルデンダ⑳シノブ㉑フクロシダ㉒イヌシダ㉓イタチシダ㉔イヌイタチシダ㉕トラノヲシダ㉖イワトラノ

ヲ㉗コバノヒノキシダ㉘イワデンダ㉙ビロウドシダ㉚ヒメノキシノブがついていた。又道のへりでは㉛ワラビ㉜ゼンマイ㉝ヤマイヌワラビ㉞ヒメワラビ㉟ヒメシダ㊱イヌガンゾク㊲ヌリワラビ㊳スギナ㊴キヨタキシダ㊵ツヤナシイノデ・ヘビノネゴザ等を，五丁目と書いた石標が立つている石門附近では㊶エビラシダ㊷エゾイワデンダ・ツヤナシイノデを見た。この辺から一登りすれば不動寺であるが，寺の左側下方に露出している大岩壁が気になるので行つて見たが，日当りがよくて乾燥し㊸クモノスシダの小さいものの外には何もついていなかつた。岩の下の落葉のぶくぶくする中では㊹ナツノハナワラビ㊺イワガネゼンマイ・ニシキシダを見た。不動寺に着くと荷物を置いて滝の方へ行つてみた。滝は貧弱でシダも少い。僅かにフクロシダ・ミヤマウラジロ・イワデンダ・イタチシダ・㊻イワヒバ㊼ノキシノブ・ジョウシユウコガネシダを見るだけであつた。ジョウシユウコガネシダは滝から奥の院へ行く道端にあつた。そこはむしろ日当りのよい比較的乾いた場所であつた。寺の二階で午食をすませ暫らく休息した。登つて来た谷を見下ろすと黒滝の家も谷の底に見えたし鹿岳や四ツ又が谷間のやや左寄りに高く立並んでいた。午後は寺の後ろを九十九谷道へと辿つたがシダの変化はなくて急登する岩場のあたりでジョウシユウコガネシダ㊽ミサキカグマ㊾ミツデウラボシが見られただけであつた。それから峠へ引返し底瀬へ下つて六車に出たが変化を示したものに㊿ホソバシケシダ(51)ミヤマノキシノブがあつた位で他は全部上記のもののみだつた。この行での目的物の一つであつたミヨウギシダは遂に見なかつた。記録されたシダは合計51種である。この小文は黒滝山の普通の登山路についての記録であつて勿論黒滝山全体のシダを語るものではないが大凡この附近山地のシダの分布を知る上に幾分かの参考にはなるだろうと思う。　(地図五万　御代田・富岡)

○植物採集覚書 (其十六) (奥山春季) Shunki OKUYAMA: Tentative list of plants for collectors (16)

長野県 (其三)

○仙丈岳 (長野，山梨県境)

原標本植物 *Melandryum apetalum* forma *Okadai* Makino タカネマンテマ 植研 **2**:6 (1918) (他，塩見岳). *Carcx Hidewoi* Ohwi センジヤウスゲ 京大紀 B.5-3:276 (1930). *Calamagrostis Langsdorfii* var. *punctulata* Ohwi コイハガリヤス 植分 **5**:239 (1936). *Cirsium senjoense* Kitamura センジヤウアザミ 植分 **5**:32 (1936). *Hypericum Kamtschaticum* var. *decorum* Y. Kimura ウツクシオトギリ 植雑 **52**: 405 (1938) (北沢峠). *Epilobium cephalostigma* var. *linearifolium* Hisauchi トダイアカバナ 植研 **14**:143 (1938). *Anaphalis todaiensis* Honda トダイハハコ 植雑 **46**:373 (1932) (戸台). *Leontopodium perniveum* Honda カハラウスユキサウ l.c.